

(2) 安達町の地名のおこり、町の成り立ち

●地名のおこり

1000年以上も古い昔から、「あだたら山」のふもとに広がる広い地いきを「あたり」と呼んでいました。

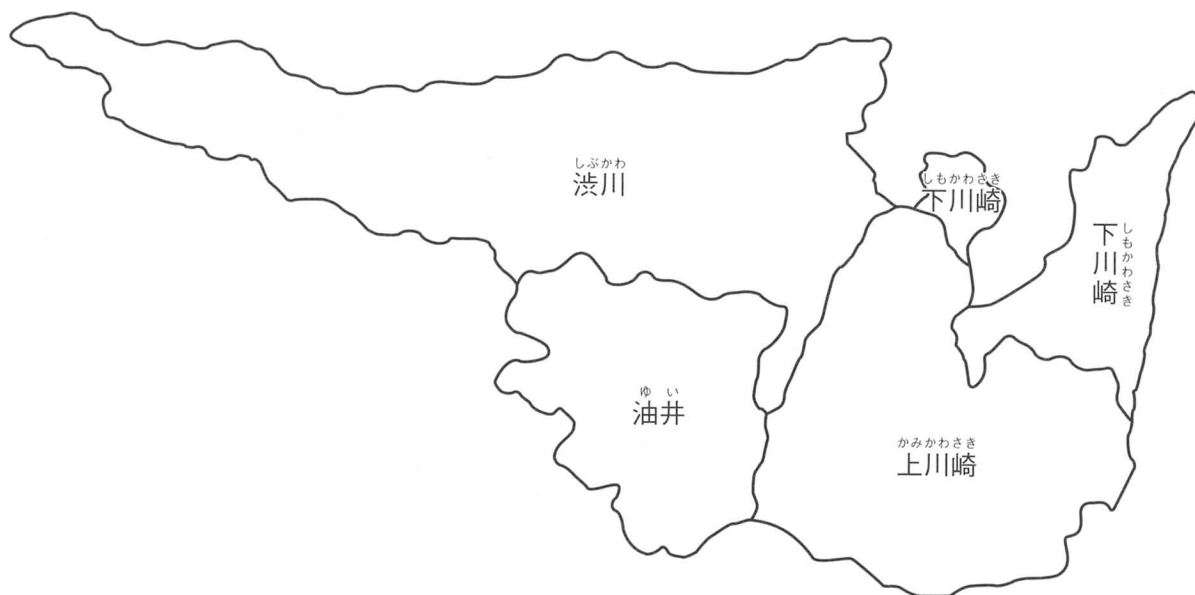
「あたり」というのは、天にそびえ立つ「あだたら山」のすがたから天立つ（アマタツ→アタツ→アタチ→アダチ）とよばれるようになったと考えられています。

あだたら山をもっとも美しくながめられるわたくしたちの町は「安達町」と名づけられました。



▲あだたら山とあだたら神社（渋川）

●町の成り立ち



昔はたくさんの小さな村がありました。

今から100年ぐらい前、それらの小さな村がいくつかずつ集まって油井村、渋川村、上川崎村、下川崎村という4つの村になりました。

1955年（昭和30年）油井村、渋川村、上川崎村の3つの村がいっしょになって新しい大きな村になったとき「安達村」という名前がつけられました。

そのあと下川崎村の一部が安達村に入り、油井村の一部が二本松市に入るなど、いろいろなうつりかわりもありましたが、村の人口もだんだんふえ、1960年（昭和35年）に「安達町」という町になりました。安達町は福島市と二本松市の間にあって、昔から交通の上でたいせつなところとしてさかえてきました。